



令和7年度1月号

大阪市立矢田東小学校

学校だより

—なかよく助け合う子 すすんで取り組む子 つよい体にきたえる子—



「かつての習わし」◆新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。新しい年がスタートしました。小学校も3学期が始まりました。心新たにスタートを、今年度（今の学年）のまとめと、次年度（次の学年）の準備をしていきたいと思います◆さて、これまで年末年始には必ずやっていたこと、でも近頃はやらなくなってしまったことで気になることが1つあります。まだしっかり続けられている方もある中で、私は年末にやらず年が明けてから、少しやるぐらいになってしまいました。それは「年賀状を書く」ということです。小学生の頃、「はがきの書き方」を授業で学習し、その頃から担任の先生に年賀状を書く、親せきに書く、それが当たり前になりました。1月1日、元旦の朝（だいたい9時か10時くらい）に自宅の郵便受けに年賀状が届いて、家族で分けて誰から届いた、誰からはまだ届かない、とか言いながら懐かしい人からの年賀状を見ていました◆教員になってからは、自分の担任した子どもたちや同僚の先生方、前にいた学校の同僚、教え子からも届くようになりました。枚数だけで言うと、毎年300枚から400枚も届くことがありました。今考えると恐ろしい数ですよね。それが諸般の事情で、現担任の子どもたちへ送ることができなくなり、受け取ることも（担任が住所を教えられなくなって）なくなりました。そうするうちに「年賀状を書く」という年中行事の一つだったことをしなくなっていました◆年末年始の忙しさを理由にしているのですが、そうやって言い訳する自分に失望しています。今はスマホのLINEやSNSなどで年始の挨拶ができます。今年も何人かの方からはLINEで「明けましておめでとうございます」のスタンプやLINE版の年賀状をいただきました。それらでつながっていない方からは年賀状が届きました。「年賀状じまい」という「今年で年賀状を書くのをやめようと思います」といったことでやめられた方もおられました◆かつては「プリントごっこ」なる自宅での簡単印刷機みたいなもので年賀状を書いたことや手作りの芋版画、家族写真を取り入れたものをパソコンで作成しプリンターで印刷して作ったこともあります。それでも、一人ひとりの年賀状にはその人へのコメントを思いを込めて一言書いて、年末に郵便ポストに投函していました。かつての習わし、年中行事がひとつなくなってしまいそうで悲しい思いもあります。年に一回、年賀状だけのつながりの方からのメッセージもあります。今年も私が初めて担任した教え子（結婚してお子さんもいるいいお母さん）から「今年こそ会おうね」という言葉を添えた年賀状が届きました。先日、昔を懐かしみ、届いた年賀状にお返事を書いて、遅ればせながらの挨拶状をポストに投函しました。

校長 梶原 進

《お知らせとお願い》

①生活リズムについて

冬休みなどの長期休業明けは、就寝・起床時間はじめ一日の生活時間を整えていく必要があります。生活リズムを整えて、充実した学校生活を送ることができるよう、家庭での子どもたちへの声かけをよろしくお願ひします。

②「業間体育・生活ふり返り週間」について

1月下旬に、「業間体育・生活ふり返り週間」を行います。「業間体育」は、2時間目の後の15分休みに運動場でかけ足運動を行います。「生活ふり返り週間」は、早寝・早起き・朝ごはんを中心とした自分の生活をふり返ります。子どもたちの体力向上の取組として実施します。

③クラブ活動（クラブ見学：3年生児童対象）について

1月28日（水）に、3年生児童を対象とするクラブ活動見学を行います。この日は、3年生児童も6時間授業となります。

